

平成28年度

事業報告書



公益財団法人足立区生涯学習振興公社

目 次

| | |
|-----------|----|
| 公社經營方針 | 1 |
| 定款事業別体系図 | 2 |
| 事業区分別事業報告 | 3 |
| 公社概要 | 29 |
| 組織図 | 29 |

公社経営方針

当公社は公益財団法人として、足立区民に文化、スポーツおよび学習活動の体験や機会を提供するとともに、人材の育成や自主活動を支援する事業を行うことで生涯学習を推進し、「生き生きとした地域社会の創造」に寄与することを目的としている。

公益財団法人となった平成21年度以降は、生涯学習施設の管理運営を所管業務から外し、職員の経験と実績に基づく指導力、調整能力を生かした事業に集約し展開している。

平成28年度の事業計画及び予算編成にあたっては、27年度に策定した「公益財団法人足立区生涯学習振興公社中期事業計画（以下中期事業計画）」に基づき、人材、財源等公社の持つ経営資源の効果的な活用により、重要課題に計画的に取り組んでいく。

足立区から受託する「放課後子ども教室支援」を引き続き中核事業とし、自主事業も強化することによりさらに充実させていく。また文化、スポーツ・学習活動にかかる事業では、地域で活動する人材の育成や、区内アーティストや関連施設との連携協力により、地域の力を一層活用し活力ある地域活動につなげていく。

事業の実施、予算執行にあたっては、より効率的で的確な運営を図ることにより、事業の実施効果を挙げ、区民へのサービス向上に努める。

重点事項

1 放課後子ども教室の運営支援及び拡充に重点的に取り組む。

平成28年度は、「足立区放課後子ども総合プラン*」並びに「中期事業計画」を踏まえ、より魅力的な活動の場へと発展を図る。校内学童保育室との連携、体験プログラムの充実などを重点課題として取り組む。

引き続き週5日開催の安定的な運営のための支援を行うとともに、地域や学校の実情を踏まえつつ、実行委員会や学校と協議を進め低学年の実施拡大等に取り組む。

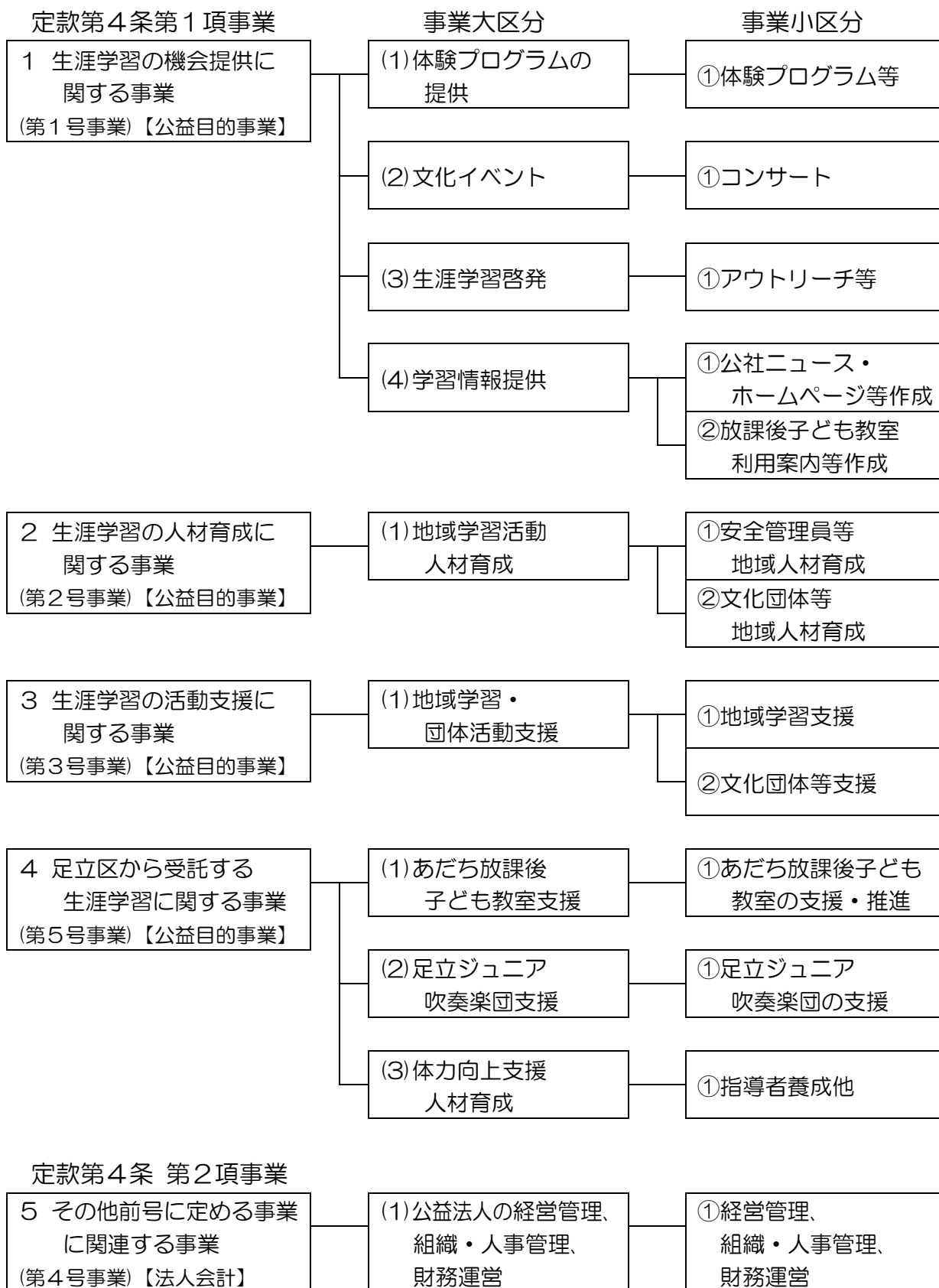
2 区民に文化・学習・スポーツの豊かな体験機会を提供するとともに、人材育成を図る。

公社自主財源を効果的に投入し、文化面では、アウトリーチをキーワードとした地域中心型の文化事業を展開していく。

また、学習・スポーツ面では、地域学習活動人材育成を始めとする学習機会を提供する。ここで、育成された人材を放課後子ども教室などの場で活用を図っていく。

3 公益財団法人として、法令等に基づく適正な法人運営を行う。

平成28年度 定款事業別体系図



事業区分別 事業報告

<目標達成度>

◎…90%以上

○…70%～90%未満

△…70%未満

1 生涯学習の機会提供に関する事業

(定款第4条第1項第1号事業)【公益目的事業】

| | | |
|----------------|------|-------------|
| (1) 体験プログラムの提供 | 予算現額 | 2,575,000 円 |
| | 執行額 | 2,549,121 円 |

| 【1】読み語りキャラバン*によるお話会 | | 予定回数/目標人数 | | 実施結果 | | 達成 |
|---------------------|--|-----------|------|------|------|----|
| | | 5回 | 250人 | 5回 | 307人 | ◎ |
| 概要 | 公社主催「あだち子どもサポーター*養成講座」修了者がキャラバン隊を組み、地域図書館や幼稚園などを回ってお話会を開催し、子どもや親子に読書に親しんでもらう体験プログラム | | | | | |
| 目的 | ①本や言葉に対する子どもの興味関心を高める。 ②サポーター養成講座修了者を活動につなげ、学習成果を還元する機会をつくる。 | | | | | |
| 実施結果 | 6月23日(木)午後 生涯学習センター | 1回 | 50人 | 1回 | 83人 | - |
| | 9月8日(木)午後 千住柳町住区センター | 1回 | 50人 | 1回 | 38人 | - |
| | 11月10日(木)午前 東栗原保育園 | 1回 | 50人 | 1回 | 87人 | - |
| | 12月22日(木)午後 佐野図書館 | 1回 | 50人 | 1回 | 36人 | - |
| | 2月9日(木)午後 鹿浜子ども園 | 1回 | 50人 | 1回 | 63人 | - |
| | ①保育園職員から、「子どもたちが楽しいお話の世界に引き込まれ反応は大変良かった」、「職員として参加型の演目などが参考になった」との感想があった。 ②平成28年度のサポーター講座修了者20人がキャラバン隊を組み、計5回、延べ99人が参加した。 <今後の対応> 子どもへの読書推進及びサポーター養成講座修了者の発表の場として継続する。 | | | | | |

*読み語りキャラバン:区内各地を回って子どもたちに読み語りなどを行うボランティアグループ

*サポーター:子どもの体験活動を支えるボランティア

| プラスワン 【2】『放課後 + One』（放課後子ども教室における体験プログラム） | | | | | | |
|---|--|-----------|--------|------|--------|----|
| (ア)地域人材活用・体験プログラム | | 予定回数/目標人数 | | 実施結果 | | 達成 |
| | | 168回 | 2,280人 | 247回 | 3,337人 | ◎ |
| 概要 | 公社主催「あだち子どもサポーター養成講座」修了者を放課後子ども教室の実行委員会につなぎ、各校で自主的に実施する体験プログラム | | | | | |
| 目的 | ①地域の大人と子どものふれあいを促進する。 ②おりがみは子どもの想像力の醸成と集中力、読書支援では本への興味関心の向上を図る。 ③サポーター養成講座修了者を活動につなぎ、学習成果を還元する機会をつくる。 | | | | | |
| 実施結果 | 放課後キッズおりがみ教室(実施24校) | 144回 | 2,160人 | 217回 | 3,173人 | - |
| | 放課後キッズ読書支援(実施3校) | 24回 | 120人 | 30回 | 164人 | - |
| | ①サポーター養成講座修了者の活動は、計24校から27校、70人から88人、参加児童数は前年の2,973人から3,337人に増え、サポーターとして活動する地域の大人と子どもたちの交流が図られた。 ②おりがみ教室では、季節感のある作品やじっくり折りこむ作品に取り組む創作体験の機会を提供した。読書支援では、読みたい本と一緒に探す・本を介して会話を楽しむ等、本に親しむ体験をサポートした。 ③28年度のサポーター養成講座修了者24人中18人が3校で活動を開始した。 <今後の対応> サポーター養成講座を継続実施し、サポーターによる体験プログラム実施校を毎年2校程度拡大していく。 | | | | | |

| (イ)団体連携・体験プログラム | | 予定回数/目標人数 | | 実施結果 | | 達成 |
|-----------------|--|-----------|--------|------|--------|----|
| | | 60回 | 1,810人 | 69回 | 3,113人 | ◎ |
| 概要 | 企業やNPO法人等の団体が放課後子ども教室において実施する体験プログラム | | | | | |
| 目的 | ①子どもに多様な体験・交流活動の機会を提供する。 ②各校の放課後子ども教室に体験プログラムを定着させる。 | | | | | |
| 実施結果 | 工作「ゆめ広場」/NPO 法人あちこち会/20校 | 20回 | 1,000人 | 20回 | 1,313人 | - |
| | 将棋/日本将棋連盟/2校 | 18回 | 360人 | 16回 | 806人 | - |
| | フラッグ鬼ごっこ*/スポーツ推進委員会/6校 | 5回 | 150人 | 8回 | 330人 | - |
| | 工作「ハンズヒントクラブ」/(株)ハンズ/2校 | 1回 | 50人 | 2回 | 101人 | - |
| | 漢検・数検勉強会/ガリレオクラブ/1校 | 10回 | 100人 | 10回 | 75人 | - |
| | 楽器体験&ミニコンサート/AJBT/9校 | 3回 | 90人 | 9回 | 403人 | - |
| | ビブリオバトル*/Book Link/3校 | 3回 | 60人 | 3回 | 65人 | - |
| | スラックライン*/エクスエイラー/1校 | - | - | 1回 | 20人 | - |
| | <p>①計44校で69回実施し、延べ3,113人の子どもが参加した。「楽器体験」のプログラムをきっかけに音楽に興味を持って足立ジュニア吹奏楽団に参加したり、「勉強会」後の漢字検定・算数検定で合格したりするなどの成果があった。</p> <p>②「将棋」実施校では、団体連携プログラム終了後に、スタッフ*と地域のボランティアがプログラムを継続することになった。また、スポーツ推進委員会の協力により、新年度から「フラッグ鬼ごっこ」を4校で定期的の実施することが予定されている。</p> <p><今後の対応></p> <p>放課後子ども教室の実施形態に適したプログラムを行う団体と連携し、同程度のプログラム数を継続する。</p> | | | | | |

*スタッフ:各校の放課後子ども教室を運営し、子どもたちの活動を見守る安全管理員

*フラッグ鬼ごっこ: スポーツ推進委員会が普及している鬼ごっこ型の宝取りゲーム

*ビブリオバトル: 数人の発表者が本を紹介し、子どもが一番読みたい本に投票する、読書啓発につながるゲーム

*スラックライン: 幅約5cmの平たいテープ状のベルトを膝くらいの高さに張り、その上を歩いたり座ったり様々な動作をして、落ちないようにバランスをとるスポーツ

| (ウ)公社企画・体験プログラム | | 予定数/目標校数 | | 実施結果 | | 達成 |
|-----------------|---|----------|------|------|------|----|
| | | 6 種目 | 30 校 | 6 種目 | 31 校 | ◎ |
| 概要 | スタッフが実施できるプログラムを公社が企画し、各校へ導入するプログラム | | | | | |
| 目的 | ①子どもに多様な体験・交流活動の機会を提供する。 ②各校の放課後子ども教室に体験プログラムを定着させる。 | | | | | |
| 実施結果 | (1)スポーツスタッキング*/6校、(2)天下統一*/2校、(3)ロケットボール*/3校、 (4)読書通帳*/11校、(5)大型図書*/8校、(6)ラッキーパズル*/1校 ※複数種目の実施校あり | | | | | |
| | ①6 種目のプログラムを計 31 校に導入した。自由な活動の中で、子どもの興味関心を高め、読書のきっかけや体力・集中力の向上などにつなげた。 ②スペースや参加人数等の課題で体験活動を広げられない学校の実情に合わせ、実施可能なプログラムを提案出来たことで、プログラム実施校を増やすことができた。 <今後の対応> 放課後子ども教室の実施形態に適したプログラムを企画し、各校に導入していく。 | | | | | |

*スポーツスタッキング:数個のカップを積み上げて、元に戻すスピードを競う競技

*天下統一:ボールを投げて人に当てたり、そのボールを捕ったり逃げたりする運動あそび

*ロケットボール:子どもの投げる能力を高めるために開発された楕円形のボール

*読書通帳:読んだ本のタイトルを記入する通帳型のカード

*大型図書:新聞紙大の絵本やパネルシアターなど、子どもの目を惹く図書資料を貸し出すもの

*ラッキーパズル:数種類の木片を組み合わせて様々な形をつくる木製のパズルゲーム

| | | |
|-----------|------|-------------|
| (2)文化イベント | 予算現額 | 1,746,000 円 |
| | 執行額 | 1,735,261 円 |

| 【1】マイタウンコンサート | 予定回数/目標人数 | | 実施結果 | | 達成 |
|---------------|--|-------|------|-------|----|
| | 1 回 | 400 人 | 1 回 | 600 人 | ◎ |
| 概要 | 多くの利用者が行き来する北千住駅南口コンコースを会場としたコンサート | | | | |
| 目的 | ①不特定多数の区民に駅という身近な場所で音楽芸術に触れる機会を提供する。 ②足立区出身のアーティストを起用することにより区民が地域を誇りに思う感情の醸成を図る。 ③区外の駅利用者に向けて芸術文化を発信し、足立区のイメージ向上を図る。 | | | | |
| 実施結果 | 7月7日(木)午後 北千住駅南口コンコース 出演:山崎千裕+ROUTE14band ①立見客を含め、想定を上回る600人以上がコンサートを鑑賞した。 ②ワールドツアーも行う著名なアーティストである出演者が足立区出身であり、地元でコンサートを行っていることを伝えることにより、鑑賞した区民の地域への愛着心を向上させた。 (アンケートより:「足立区から出たこのグループのさらなる発展を期待します。」「大変良かった。足立区の誇りだ。」) ③コンサートを聴く目的以外の区外の駅利用者が、コンサートに触れることにより、外部からの足立区に対するイメージの向上が図られた。 (アンケートより:「仕事で疲れて帰ってきたときに遭遇して癒されました」「北千住地域は文化都市になりました」「帰宅途中だったけどまさか乗換駅の北千住駅でこのようなコンサートを聴けるとは思いませんでした。」) <今後の対応> 公社中期事業計画の方針により、鑑賞型事業から人材育成及び活動支援事業に移行するため、28年度で廃止する。 | | | | |

| 【2】ドンドン♪フェスティバル | | 予定回数/目標人数 | | 実施結果 | | 達成 |
|-----------------|--|-----------|------|------|------|----|
| | | 1回 | 200人 | 1回 | 120人 | △ |
| 概要 | プロミュージシャンの演奏鑑賞と、打楽器の即興演奏を行う参加型事業 | | | | | |
| 目的 | ①世代を超えた参加者間のコミュニケーションによる「新しい祭り」を創出する。 ②区内在住のアーティストによる文化事業での地域貢献の機会を創出する。 ③都市農業公園の収穫祭との連携により、集客の相乗効果を図る。 | | | | | |
| 実施結果 | 日時:11月19日(土)午後 会場:都市農業公園芝生広場 出演:橋田”ペッカー”正人氏、石川武氏、野田憲一氏、PORCO ROSA ^{ホ°ルコ ローサ ヘ°ケーニャ} pequena | | | | | |
| | ①ファシリテーター(即興演奏の誘導役)の動きに合わせた即興演奏で、幼児から高齢者まで世代を超えた初対面の区民の間に一体感が生まれた。 ②区内在住のアーティストが単なる演奏会ではなく、参加者のコミュニケーション向上を図る公共事業に出演することにより、地域に密着した文化事業による地域貢献の可能性が示唆された。 ③雨天にもかかわらず、約120名が参加した。都市農業公園と公社が、収穫祭とフェスティバルを合わせて告知することにより、宣伝効果を高めた。打楽器を持参した参加者の多くが会場で販売されていた野菜を購入するなど、両事業の相乗効果が図られた。 <今後の対応> 公社中期事業計画の方針により、参加型事業から人材育成及び活動支援事業に移行するため、28年度で廃止する。 | | | | | |

| 【3】コンサート in ミュージアム | | 予定回数/目標人数 | | 実施結果 | | 達成 |
|---|--|-----------|------|------|------|----|
| | | 4回 | 230人 | 4回 | 265人 | ◎ |
| 概要 | 区内4か所の民間文化施設で実施するコンサート | | | | | |
| 目的 | <p>①各施設の魅力とその特性を活かした良質の音楽を区民に提供する。</p> <p>②4施設をつなぎコンサートを実施することにより、区民への文化発信の相乗効果を図る。</p> <p>③各施設の主体性を高めていく。</p> | | | | | |
| 実施 結果 | 6月25日(土)午後 昭和の家<平田邸> | 1回 | 60人 | 1回 | 70人 | - |
| | 「受け継がれる宝物ー昭和の佇まいと名器の共演ー」 出演:北村聡氏(バンドネオン)、波多野睦美氏(メゾソプラノ) | | | | | |
| | 8月11日(木・祝)午後 石洞美術館 | 1回 | 70人 | 1回 | 77人 | - |
| | 「ー和の憧れ、華の祥(さいわ)いー」 出演:海みのり氏(二胡)、喜羽美帆氏(箏・二十五絃箏) | | | | | |
| | 12月12日(月)午後 六町ミュージアム・フローラ | 1回 | 50人 | 1回 | 61人 | - |
| | 「ー聖夜の響き、花の馨りー」 出演:大橋弘美氏(フルート)、成田しのぶ氏(ハーブ) | | | | | |
| | 2月19日(日)午後 わたなべ音楽堂<ベルネザール> | 1回 | 50人 | 1回 | 57人 | - |
| 「~JAZZ が奏でる愛のメモリー~」出演:西田幹氏(バストロンボーン)、加塩人嗣氏(アルトサクソフーン)、安井さち子氏(ピアノ)、芹澤薫樹氏(ベース)、環輝美帆氏(ヴォーカル) | | | | | | |
| <p>①コンサート開始前に、オーナーが施設の見どころや創設の思いなどを語り、あらためて足立区の民間文化施設の魅力と価値を区民に知らしめた。 各回とも参加者の高い満足度を得た(大変良い、良い93%)</p> <p>②今回のコンサートで初めてその施設を訪れたという人が約8割であった。各施設のオーナーによると、このコンサートをきっかけに施設を訪れる区民が増えたとのこと。</p> <p>③演目、演奏家、開催時期の決定から当日の運営まで、各施設の代表者で構成される実行委員会主導での事業運営を行った。</p> <p><今後の対応> 企画・運営の業務を公社から段階的に移譲し、各施設の主体性を高めていく。当面公社は運営に対する助言や出演料等の支援を行う。</p> | | | | | | |

| | | |
|-----------|------|-------------|
| (3)生涯学習啓発 | 予算現額 | 1,615,000 円 |
| | 執行額 | 1,593,704 円 |

| 【1】小学校アウトリーチ*コンサート | | 予定回数/目標人数 | | 実施結果 | | 達成 |
|--|---|-----------|------|------|------|----|
| | | 14回 | 392人 | 14回 | 413人 | ◎ |
| 概要 | 小学生を対象に、生演奏の体験と演奏家とのコミュニケーションにより音楽への関心を醸成するコンサート | | | | | |
| 目的 | ①間近でプロの演奏家の生演奏と働きかけにより音楽への興味関心を導き出す。 ②生涯にわたり音楽に親しむ豊かな人間性を育む。 | | | | | |
| 実施 結果 | 10月20日(木)午前 北鹿浜小 | 2組 | 56人 | 2組 | 52人 | - |
| | 出演:浜まゆみ氏(マリンバ)、小林拓史氏(パーカッション) | | | | | |
| | 10月21日(金)午前 東栗原小 | 2組 | 56人 | 2組 | 65人 | - |
| | 出演:浜まゆみ氏(マリンバ)、小林拓史氏(パーカッション) | | | | | |
| | 1月16日(月)午前 弘道小 | 2組 | 56人 | 2組 | 47人 | - |
| | 出演:大森智子氏(ソプラノ)、白石光隆氏(ピアノ) | | | | | |
| | 1月19日(木)午前 西新井第一小 | 2組 | 56人 | 2組 | 59人 | - |
| | 出演:Quatour B クワチュール・ベー(サクソ四重奏) | | | | | |
| | 1月23日(月)午前 保木間小 | 2組 | 56人 | 2組 | 50人 | - |
| | 出演:大森智子氏(ソプラノ)、白石光隆氏(ピアノ) | | | | | |
| | 2月3日(金)午前 花畑小 | 2組 | 56人 | 2組 | 71人 | - |
| | 出演:Quatour B クワチュール・ベー(サクソ四重奏) | | | | | |
| | 2月24日(金)午前 千寿本町小 | 2組 | 56人 | 2組 | 69人 | - |
| | 出演:大森智子氏(ソプラノ)、白石光隆氏(ピアノ) | | | | | |
| <p>①ほとんどの児童に、集中して鑑賞する態度が見られた。 担任教諭アンケートによると「コンサート後の音楽の授業では、器楽、合奏に取り組む様子に変化が見られ、お互いの音を聴きあって演奏しようとする姿勢が見られるようになった」「この前の大森さんみたいに歌おう」や「もっと口を大きく開けてみよう」などの発言が聞かれ、児童にとって「上手な歌とは？」という疑問の答えの一つになったと思う」などがあり、当事業による音楽授業への効果が見られた。</p> <p>②将来的な人間性の形成については検証が困難ではあるが、参加児童のアンケートによると、「白石さん(ピアノ)のようになりたい」、「大森さん(ソプラノ)の声の響きがすごかった」、「浜さん(マリンバ)の手の動きが見えないほど早くてすごい」など、この体験が児童の心を強く動かしていることがわかった。</p> <p><今後の対応> 実施形態や対象者等を見直し、今後の実施内容について検討していく。</p> | | | | | | |

*アウトリーチ:地域へ出張して行う芸術普及活動

| 【2】SPC オリジナルソング「このまち」周知事業 | 予定回数/目標人数 | | 実施結果 | | 達成 |
|---------------------------|--|---|------|------|----|
| | - | - | 1回 | 12団体 | - |
| 概要 | SPC*オリジナルソング「このまち」のCDと楽譜の配布 | | | | |
| 目的 | ①足立区をイメージした歌詞と親しみやすい曲から、足立区への親しみ、愛着心を醸成する。 | | | | |
| 実施結果 | 区内の合唱サークル、福祉施設、歌声喫茶、ピアノ教師など12団体に配布 | | | | |
| | ①平成22年度、CD1,000枚、楽譜1,000部作成し、区内の小、中学校、公共施設、商店街、大型商業施設、合唱サークルなどに配布した。これまでに、商店街のBGMや、足立区在住の音楽家が、自身のコンサートで演奏するなどの実績があった。 <今後の対応> 作成・配布から6年間が経過し、CDの在庫もなくなったことから、当事業はその役割を果たしたと判断し、廃止する。 | | | | |

*SPC(スチューデントプロデュースコンサート):一般の公募で集まった区内在住・在学の高校・大学生が、約10ヶ月をかけて、プロの演奏家が出演するコンサートを企画・制作する事業(平成18~23年度に実施)

| | | |
|-----------|------|-------------|
| (4)学習情報提供 | 予算現額 | 9,206,000 円 |
| | 執行額 | 8,573,310 円 |

| 【1】公社ニュース「ときめき」での自主事業等情報発信 | 予定回数/目標人数 | | 実施結果 | | 達成 |
|----------------------------|---|---|------|---|----|
| | 12回 | - | 12回 | - | ◎ |
| 概要 | 公社事業や「あだち放課後子ども教室」関連情報等を発信 | | | | |
| 目的 | ①公社事業を広く区民に周知する。 | | | | |
| 実施結果 | 毎月1日発行、年12回、区内全戸配布(月31万部発行) 毎月、自主事業(学習・スポーツ事業、文化事業)の募集案内、あだち放課後子ども教室コラムの掲載 | | | | |
| | ①区内全戸配布により、区民の手元に届けられた。 <今後の対応> 限られた紙面(1ページ)で必要情報を効果的に掲載していく。 | | | | |

| 【2】公社ホームページによる情報提供事業 | 予定回数/目標人数 | | 実施結果 | | 達成 |
|----------------------|---|---|------|---|----|
| | 随時 | - | - | - | - |
| 概要 | 公社概要や事業案内などの情報提供 | | | | |
| 目的 | ①公社事業への興味関心を高める。 | | | | |
| 実施結果 | ①事業案内、事業報告などの情報を随時掲載した。 <今後の対応> ときめきやパンフレット等様々な紙面を活用し、公社ホームページのQRコードを掲載するなど、ホームページへの導入を図っていく。 | | | | |

| 【3】「あだち放課後子ども教室利用案内」の配布 | | 予定回数/目標人数 | | 実施結果 | | 達成 |
|-------------------------|---|-----------|---|------|---|----|
| | | 随時 | - | - | - | - |
| 概要 | 放課後子ども教室の事業の趣旨、利用方法、参加時の約束事等を盛り込んだ冊子 | | | | | |
| 目的 | ①保護者の理解を深め、円滑な教室運営につなげる。 ②放課後子ども教室の実行委員・スタッフ、学校関係者等の共通理解を図る。 ③放課後子ども教室登録児童数を増やす。 | | | | | |
| 実施結果 | 7,500部増刷・配布 ※平成27年度に作成し、全ての児童や学校関係者等に配布 | | | | | |
| | ①新入学児童が登録申込みをする際や保護者説明会などで配布し、教室の利用方法や参加時の約束事を周知した。 ②新任のスタッフや教職員等への説明時に活用し、事業概要の理解を深めた。 ③登録児童数は、平成27年度26,042人から平成28年度26,411人に増加した。 <今後の対応> 随時、保護者向けの事業説明会などの機会に、積極的に活用する。 | | | | | |

2 生涯学習の人材育成に関する事業

(定款第4条第1項第2号事業)【公益目的事業】

| | | |
|--------------------------------|------|-----------|
| (1)地域学習活動人材育成 ①安全管理員等地域人材育成 | 予算現額 | 830,000 円 |
| | 執行額 | 728,210 円 |

| 【1】安全管理員研修会 | | 予定回数/目標人数 | | 実施結果 | | 達成 |
|---|--|-----------|------|------|------|----|
| | | 6回 | 350人 | 6回 | 327人 | ◎ |
| 概要 | 放課後子ども教室のスタッフが見守り業務に役立つ専門的知識と技術を学ぶ研修会 | | | | | |
| 目的 | ①子どもへの接し方を学び、コミュニケーション力を高める。 ②室内遊びの手法を学び、体験活動のきっかけづくりとする。 | | | | | |
| 実施結果 | Aコース「子どもへの声かけのしかた」 ～よりよい子どもとの関係づくり～ | 3回 | 150人 | 3回 | 172人 | - |
| | 6月14日(火)生涯学習センター、6月21日(火)ギャラクシティ、7月23日(土)子ども家庭支援センター、全て午前 講師:藤後悦子氏(東京未来大学教授) | | | | | |
| | Bコース「簡単!あそびの新発見」 | 2回 | 100人 | 2回 | 41人 | - |
| | 10月5日(水)、10月19日(水)午前、生涯学習センター 講師:三浦一郎氏(日本レクリエーション協会公認レクリエーションコーディネーター) | | | | | |
| | Cコース「メンタルヘルスケア」 | 1回 | 100人 | 1回 | 114人 | - |
| | 10月24日(月)午前、庁舎ホール 講師:諸富祥彦氏(明治大学教授) | | | | | |
| ①子どもへの接し方をテーマとする研修は、見守りに使える多くのヒントが得られると昨年度好評のため継続実施した。アンケートからも、他校のスタッフとのワークショップから、参考となる意見や新しい発見があり、ぜひ、現場で実践したい、運営を工夫したいとの感想が多かった。 ②子どもと楽しくコミュニケーションをとれる遊びのプログラムを紹介した。体験活動の導入を検討するスタッフのアンケートからは、雨の日の対策に使える、トラブル後の対処にも応用できる遊びが学べたとの声が寄せられた。 <今後の対応> 運営上の課題やスタッフが要望するテーマの研修を継続し、スタッフのレベルアップを図る。 | | | | | | |

| 【2】あだちこどもサポーター養成講座 | | 予定回数/目標人数 | | 実施結果 | | 達成 |
|--------------------|--|-----------|------|------|------|----|
| | | 5回 | 134人 | 5回 | 154人 | ◎ |
| 概要 | 子どもの体験・交流活動に関わる地域人材の育成講座 | | | | | |
| 目的 | ①地域人材を発掘・育成・活用する。 ②子どもの活動をサポートしている地域人材の指導力の向上を図る。 | | | | | |
| 実施結果 | 読み語りのためのボイストレーニング講座《5日制》 | 1回 | 20人 | 1回 | 20人 | - |
| | 5月26日～6月23日(毎木曜)午前 講師:山下芳子氏、高橋雅子(足立区演劇連盟) ※往復はがき申込み 41人 | | | | | |
| | 読み語りのためのボイストレーニング体験教室 | 1回 | 50人 | 1回 | 56人 | - |
| | 10月1日(土)午前 講師:山下芳子氏、高橋雅子氏(足立区演劇連盟) | | | | | |
| | キッズあそびサポーター講習会《2日制》 | 1回 | 20人 | 1回 | 24人 | - |
| | 7月8日～15日(毎金曜)午前 講師:三浦一郎氏(日本レクリエーション協会公認レクリエーションコーディネーター) | | | | | |
| | 子どもと遊ぶおりがみ教室・第9期《5日制》 | 1回 | 24人 | 1回 | 24人 | - |
| | 10月5日～11月2日(毎水曜)午前 講師:西川光恵氏(日本折紙協会認定講師、心理カウンセラー) ※往復はがき申込み 53人 | | | | | |
| | キッズなわとびリーダー講習会 | 1回 | 20人 | 1回 | 30人 | - |
| | 10月22日(土)午前 高直恵氏(日本ロープスキッピング連盟・柏なわとびクラブ) ①読み語りの講座では20人中14人、おりがみ教室は24人中18人が活動につながった。 ②あそびサポーター、なわとびサポーターでは、子ども会・児童館・放課後子ども教室等で子どもの遊びをサポートしている人が、現場で活かせるプログラムと指導法を学習した。 <今後の対応> 実践型の養成講座として今後も継続実施し、地域人材の育成と活用を推進する。 | | | | | |

※会場表記のない事業は生涯学習センターで実施

| 【3】あだちこどもサポータースキルアップ講座 | | 予定回数/目標人数 | | 実施結果 | | 達成 |
|------------------------|---|-----------|-----|------|-----|----|
| | | 3回 | 71人 | 3回 | 76人 | ◎ |
| 概要 | こどもサポーター活動に必要なスキルアップ支援講座 | | | | | |
| 目的 | ①サポーター活動に必要な技術の向上を図る。 ②こどもの体験・交流活動を支えるサポーター活動の継続に役立つ研修機会を提供する。 | | | | | |
| 実施結果 | ボイストレーニングスキルアップ講座 | 1回 | 16人 | 1回 | 15人 | - |
| | 【今年度講座修了者20人対象】8月29日(月)午前 講師:山下芳子氏、高橋雅子氏 | | | | | |
| | おりがみサポーター活動支援講座 | 1回 | 15人 | 1回 | 12人 | - |
| | 【前年度修了者20人対象】10月19日(水)午前 講師:西川光恵氏 | | | | | |
| | おりがみサポーターレベルアップ講座 | 1回 | 40人 | 1回 | 49人 | - |
| | 【活動者72人対象】《2日制》12月7日・14日(毎水曜)午前 講師:西川光恵氏 ①サポーター養成講座修了者の多くが参加し、現場での活動に役立つ技術を習得した。アンケートからは、しっかり勉強を続け準備することの大切さを認識した、との声があった。 ②活動への動機づけや技術の習得により、読み語りキャラバン隊やおりがみサポーターとして活動を継続するためのスキルアップを図った。 <今後の対応> サポーターのスキルアップと活動の継続を促すための講座を毎年実施する。 | | | | | |

| 【4】あだちこどもサポーターフォロー講座 | | 予定回数/目標人数 | | 実施結果 | | 達成 |
|----------------------|--|-----------|-----|------|-----|----|
| | | 2回 | 60人 | 2回 | 47人 | ○ |
| 概要 | こどもサポーター活動を継続するための意識啓発講座 | | | | | |
| 目的 | ①活動のモチベーションの向上を図る。 ②ボランティアとしての基礎知識と活動姿勢を身につける研修機会を提供する。 | | | | | |
| 実施結果 | サポーターフォロー講座Ⅰ 10月20日(木) | 1回 | 30人 | 1回 | 23人 | - |
| | サポーターフォロー講座Ⅱ 10月25日(火) | 1回 | 30人 | 1回 | 24人 | - |
| | 【放課後子ども教室体験サポーター対象】 「放課後体験活動の意義とボランティアの心構え」 講師:高井正氏(立教大学特任准教授) ※同内容の講座を2回実施した。 | | | | | |
| | ①多くの参加者が、活動継続の意識が高まった。アンケートから、「今後の活動が、これからの時代を担う子どもたちのために、少しでも役立つよう頑張りたい」など、意欲の向上につながったとの回答が多数あった。 ②ボランティア活動に関する知識や心構えを共有することができた。アンケートから、「今までの活動の振り返りや今後の取り組み方を考える機会になった」など、「大変参考になった・参考になった」との回答が多数あった。 ＜今後の対応＞ 今年度、新規事業として実施した。ボランティア活動を長く楽しく続けるためには、活動に関する疑問や迷いについて仲間と共有するワークショップ型講座が有効であり、同様の講座を継続する。講座のテーマや募集方法を見直し、参加者を増やしていく。 | | | | | |

| 【5】あだちこどもサポーター活動支援(随時) | | 予定回数/目標人数 | | 実施結果 | | 達成 |
|------------------------|---|-----------|------|------|------|----|
| | | 168回 | 600人 | 257回 | 914人 | ◎ |
| 概要 | こどもサポーター活動の始動や継続化のコーディネート、活動課題に対するアドバイス等 ※活動場所調整(放課後子ども教室実行委員会・スタッフ、保育園・高齢者施設等) | | | | | |
| 目的 | ①サポーターの活動場所を確保し定期活動につなげる。 ②サポーターの主体的活動への発展を目指す。 | | | | | |
| 実施結果 | おりがみサポーター活動の支援(24校) | 144回 | 576人 | 217回 | 796人 | - |
| | 読書支援サポーター活動の支援(3校) | 24回 | 24人 | 31回 | 31人 | - |
| | 読み語りキャラバン隊活動の支援(自主活動) | - | - | 9回 | 87人 | - |
| | ①おりがみサポーターは、放課後子ども教室での主体的な活動につなげており、毎年実施箇所の拡大を図っている。今年度は新規3校で始動し、計24校となった。また、放課後スタッフや学校との連絡調整など、活動を継続するための支援を行っている。 ②読み語りキャラバン隊は、自主活動へ移行し、デイサービスや保育園などのオファーを受け、で公演会を始めることができた。 ＜今後の対応＞ 活動場所の情報提供や物品の支援等を通して、サポーター活動の拡大・継続を目指す。 | | | | | |

| 【6】あだちこどもサポーターネットワーク支援 | | 予定回数/目標人数 | | 実施結果 | | 達成 |
|------------------------|--|-----------|---|------|-----------|----|
| | | — | — | — | — | — |
| 概要 | 各サポーター活動での工夫や特色などを発表し合う交流会等 | | | | | |
| 目的 | ①活動者相互の情報交換・技術向上。 ②自主活動を促進し、区民への学習機会の提供につなげる。 | | | | | |
| 実施結果 | おりがみサポーター交流会Ⅰ 6月29日(水)午前 | — | — | 1回 | 48人 | — |
| | おりがみサポーター交流会Ⅱ 3月1日(水)午前 | — | — | 1回 | 54人 | — |
| | 読み語りキャラバン隊・活動連絡会 2月16日(木)午前 | — | — | 1回 | 20人 | — |
| | 読み語りキャラバン隊・練習会 4月21日～3月29日随時 | — | — | 8回 | 延 114人 | — |
| | ①おりがみサポーター交流会では、各校での活動報告や子どもたちに人気のあった「おりがみ」を紹介し合うなど、活発な情報交換と交流を図ることができた。 ②読み語りキャラバン隊は、28年度に自主活動への移行を促して「読み語りキャラバン隊・きらきら」を結成し、定期的な練習会を始めた。 <今後の対応> 地域人材が区民の学習機会を創出できるように、活動者のネットワークづくりを支援していく。 | | | | | |

| | | |
|-------------------------------|------|-----------|
| (1)地域学習活動人材育成 ②文化団体等地域人材育成 | 予算現額 | 575,000 円 |
| | 執行額 | 518,176 円 |

| 【1】演奏家のためのアウトリーチ講座 | | 予定回数/目標人数 | | 実施結果 | | 達成 |
|--------------------|---|-----------|-----|------|-----|----|
| | | 1回 | 15人 | 1回 | 12人 | ○ |
| 概要 | 地域で活動する演奏家を対象に、アウトリーチ活動に関する知識と技術を学ぶ講座(2日制) | | | | | |
| 目的 | ①アウトリーチの知識・技術の習得により、意欲ある地域の演奏家を育成する。 ②新たな演奏家を発掘し、地域での活動による区民還元の可能性を拡大させる。 | | | | | |
| 実施結果 | 9月17日(土)、18日(日)午前・午後 竹の塚地域学習センター 講師:児玉 真氏(一般財団法人地域創造プロデューサー、長崎市芸術アドヴァイザー、東京藝術大学大学院・桐朋学園芸術短期大学非常勤講師)、森隆一郎氏(アーツカウンシル東京 PRディレクター)、演奏:大森智子氏(ソプラノ)、白石光隆氏(ピアノ) | | | | | |
| | ①参加した地域の演奏家が、アウトリーチ活動に必要な知識と具体的な手法等を習得したことにより、「今後の活動に活かしていきたい」等の意見が得られ、参加者の能力のレベルアップと意識の向上が図られた。 ②参加した演奏家を、公社他事業への出演や、地域への紹介に繋げ、演奏活動による区民還元へ寄与した。 <今後の対応> 参加対象を演奏家のみならず、企画やコーディネートする人材にも視野に入れた募集を行い、可能性を拓けていく。 | | | | | |

| 【2】あだちアートリンクカフェ | | 予定回数/目標人数 | | 実施結果 | | 達成 |
|---|--|-----------|------|------|------|----|
| | | 6回 | 120人 | 6回 | 113人 | ◎ |
| 概要 | アートに関わる方々を対象とした、新たな出会いと交流を図る情報交換会 | | | | | |
| 目的 | ①情報交換と交流により、各自の地域での活動の幅を広げ、地域の持つ力の向上を図る。 ②出会いをきっかけとして、参加者による自主的な企画を創出する。 | | | | | |
| 実施 結果 | 4月28日(木)夜間 東京芸術センター | 1回 | 20人 | 1回 | 20人 | - |
| | 第51回「低コストで楽しむN.Yの“脇道”アート」 ゲストスピーカー:森本菜穂氏(東京藝術大学大学院音楽研究科芸術環境創造領域修士2年) | | | | | |
| | 5月27日(金)夜間 東京芸術センター | 1回 | 20人 | 1回 | 27人 | - |
| | 第52回「まちとつながる出版社」 ゲストスピーカー:吉満明子氏(センジュ出版 代表取締役) | | | | | |
| | 7月22日(金)夜間 東京芸術センター | 1回 | 20人 | 1回 | 23人 | - |
| | 第53回「アートスペース コノカのこれまでとこれから」 ゲストスピーカー:小林あかり氏(アートスペース コノカ代表) | | | | | |
| | 9月23日(金)夜間 東京芸術センター | 1回 | 20人 | 1回 | 11人 | - |
| | 第54回①「日本とは違うドイツでの生活について。日本人とは違うドイツ人について」②「ドイツでの私の、『一風変わったピアニスト』としての仕事内容について」 ゲストスピーカー:沢野智子氏(コレペティートル) | | | | | |
| | 11月25日(金)夜間 東京芸術センター | 1回 | 20人 | 1回 | 16人 | - |
| | 第56回「淡路島から世界に発信するアートプロジェクト『あわじアートサーカス』」 ゲストスピーカー:エレナ ブジョラ氏(あわじアートサーカス2016事務局長) | | | | | |
| 3月24日(金)夜間 東京芸術センター | 1回 | 20人 | 1回 | 16人 | - | |
| 第58回「指定管理者制度と文化芸術の地域貢献」 ゲストスピーカー:児玉 真氏(一般財団法人地域創造プロデューサー、長崎市芸術アドバイザー、東京藝術大学大学院・桐朋学園芸術短大非常勤講師) | | | | | | |
| ①多彩なゲストスピーカーによる基調講演を実施し、各分野で活躍する参加者同士の情報交換と交流を行った。ここでの出会いにより、自身のコンサートや催し物への出演や区及び公社事業への協力につながる等の成果があった。(昭和の家 ⇄ 茨木智博オカリナコンサート他) ②当事業の成果を区民に還元する事業として、参加するアーティストにより「あだちアートリンクカフェ・フェスティバル」が発案、企画された。公社は事務局機能及び資金面での支援を行う。 <今後の対応> アートをキーワードとしたプラットフォームを提供し、出会いと交流の場を創出し、その成果を区民還元へと導いていく。 | | | | | | |

| 【3】あだちアートリンクカフェ・公開講座 | | 予定回数/目標人数 | | 実施結果 | | 達成 |
|----------------------|---|-----------|------|------|------|----|
| | | 2回 | 160人 | 2回 | 161人 | ◎ |
| 概要 | 「あだちアートリンクカフェ」の一般区民向けの公開講座 | | | | | |
| 目的 | ①文化芸術に関心の高い区民を対象に講座を提供し、文化面での区民還元を図る。 ②情報交換と交流により、各自の地域での活動の幅を広げ、地域の持つ力の向上を図る。 | | | | | |
| 実施 結果 | 10月28日(金)夜間 生涯学習センター講堂 | 1回 | 80人 | 1回 | 69人 | - |
| | 第55回「-地域を元気に。チンドン屋がやってくる!-」 ゲストスピーカー:永田美香氏(チンドン芸能社) | | | | | |
| | 1月27日(金)夜間 生涯学習センター講堂 | 1回 | 80人 | 1回 | 92人 | - |
| | 第57回「~呼吸を感じて豊かな『声』を実感しましょう~」 ゲストスピーカー:近藤直子氏(合唱指揮、ATT*指導者) | | | | | |
| | ①一般区民を対象に、ゲストスピーカーによる講演、ワークショップを交えた体験コーナーを実施、文化芸術に関心の高い多くの区民が参加し、多彩な文化芸術活動を享受した。 ②講演の冒頭には、地域で活動する方々からの情報が寄せられ、広く参加者への周知、情報提供が図られた。 ※公開講座に参加した区民が、江北白百合幼稚園に「チンドン芸能社」を紹介し、催し物への出演が実現した。 <アンケートより> ・チンドン芸能社 懐かしさで心がいっぱいになった。非常に楽しい時間を過ごせた。昔の浅草を思い出した。これぞ、日本の伝統文化。これからも継承して行ってほしい。このような企画を期待している。 ・近藤直子氏 呼吸と身体と声の関係がとても大切なことが理解できた。基本的なことを丁寧に説明してくれてわかりやすかった。解説と実践が関連していてイメージがしやすかった。声を出す楽しさを体験することができた。 <今後の対応> 文化芸術に高い関心を持つ区民への情報提供と参加者相互の交流の場として継続する。 | | | | | |

*ATT:Atem-Tonus-Ton というドイツ語の略で「呼吸と心と体の張力バランスと声の関係」というメソッド

3 生涯学習の活動支援に関する事業

(定款第4条第1項第3号事業)【公益目的事業】

| | | |
|-----------------|----------|-----------|
| (1) 地域学習・団体活動支援 | 予算現額 | 305,000 円 |
| | ① 地域学習支援 | 285,314 円 |

| 【1】健康づくり・スポーツ活動講座 | 予定回数/目標人数 | | 実施結果 | | 達成 | |
|-------------------|--|-----|------|-----|-----|---|
| | 2回 | 80人 | 2回 | 68人 | ○ | |
| 概要 | 健康づくり・スポーツ活動や、そのサポートをする人の学習を支援する講座 | | | | | |
| 目的 | ①生涯スポーツを楽しく安全に継続するためのトレーニング理論を学ぶ機会を提供する。 ②スポーツ科学の第一線の講師による最新情報を提供する。 | | | | | |
| 実施結果 | スポーツコンディショニング講座 | 1回 | 30人 | 1回 | 19人 | - |
| | ～走る女性のための簡単コンディショニング～ 7月9日(土)午前 講師:八田倫子氏(NPO 法人スポーツセーフティジャパン) | | | | | |
| | あだちウエルネスカレッジ Vol.8 | 1回 | 50人 | 1回 | 49人 | - |
| | ～トップアスリートのコンディショニングづくりをウエルネスにいかす～ 1月28日(土)午前 講師:小粥智浩氏(流通経済大学教授、サッカーU-19 日本代表コンディショニングコーチ) | | | | | |
| | ①受講者アンケートでは、ほぼ全員から講座内容について参考になったとの回答があった。 ②JOC 医科学スタッフ、サッカーU-19 日本代表コンディショニングコーチなど、第一線で活躍されている講師陣から、スポーツ科学の知識を学び日々の活動に活かす講座を提供した。 <今後の対応> スポーツ実践者等のニーズに応え、専門性の高い講師陣を招き、最新情報を学習できる機会として継続実施していく。 | | | | | |

| 【2】地域活動支援講座 | 予定回数/目標人数 | | 実施結果 | | 達成 | |
|-------------|---|-----|------|-----|-----|---|
| | 2回 | 60人 | 2回 | 63人 | ◎ | |
| 概要 | 地域活動に関わる人の学習を支援する講座 | | | | | |
| 目的 | 子どもに関わる大人が、それぞれの活動に活かせる知識を習得する。 | | | | | |
| 実施結果 | 子ども学講座Ⅰ(子どものことを考える大人の勉強会) | 1回 | 30人 | 1回 | 28人 | - |
| | ～小学生の子ども心にふれる～ 《2日制》8月9日、23日(火)午前 講師:藤後悦子氏(東京未来大学教授) | | | | | |
| | 子ども学講座Ⅱ(楽しい孫育て応援編) | 1回 | 30人 | 1回 | 35人 | - |
| | ～乳幼児期の発達段階の理解と対応～ 《2日制》2月28日、3月7日(火)午前 講師:藤後悦子氏(東京未来大学教授)、井梅由美子(東京未来大学講師) | | | | | |
| | 発達心理学の専門講師から子どもの発達段階での特徴や課題を学び、その対応で配慮すべき点を学んだ。また、ワークショップを取り入れ、課題や対処法についてのディスカッションを行い、参加者同士の交流を通じて学びあう機会を設けた。アンケートでは、ほぼ全員から受講内容について参考になったとの回答があった。 <今後の対応> 地域活動の実践で子どもに関わる人の学習を支援する機会として、今後も実施していく。 | | | | | |

| 【3】地域学習コーディネーター事業 | | 予定回数/目標人数 | | 実施結果 | | 達成 |
|-------------------|---|-----------|---|------|---|----|
| | | 随時 | - | 6件 | - | - |
| 概要 | 地域団体等が実施する学習会などの企画相談に応じ、講師紹介等を行う学習活動の相談窓口 | | | | | |
| 目的 | 地域での主体的な学習活動の活性化を図る。 | | | | | |
| 実施結果 | 住区センター職員研修(コミュニケーション心理学講師紹介)、自治会交流事業(レクリエーション講師紹介)、他自治体スポーツ指導者講習会(スポーツ講師紹介)、その他電話相談 | | | | | |
| | 相談者の事業趣旨に即し、学習成果の向上を目指した内容の提案や講師紹介等を行った。 <今後の対応> 引き続き、地域団体等の相談に応じ、学習活動を支援する。 | | | | | |

| | | |
|-----------------|------|-----------|
| (1) 地域学習・団体活動支援 | 予算現額 | 324,000 円 |
| ② 文化団体等支援 | 執行額 | 219,480 円 |

| 【1】足立ジュニア吹奏楽団派遣演奏支援(楽器運搬) | | 予定回数/目標人数 | | 実施結果 | | 達成 |
|---------------------------|---|-----------|---|------|---|----|
| | | 4回 | - | 3回 | - | - |
| 概要 | 足立ジュニア吹奏楽団の派遣演奏に伴う楽器運搬費用の支援 | | | | | |
| 目的 | 足立ジュニア吹奏楽団の派遣演奏を円滑に行う。 | | | | | |
| 実施結果 | 9月3日(土)午前 アリオ西新井 | 1 | - | 1 | - | - |
| | 10月10日(月・祝)午前 総合スポーツセンター | 1 | - | 1 | - | - |
| | 12月17日(土)午前 アリオ西新井 | 1 | - | 1 | - | - |
| | 楽器運搬費の支援により、地域からの依頼に応え、円滑に派遣演奏を実施することができた。上記以外の派遣演奏の楽器運搬費用については、依頼先及び楽団友の会*が負担した。 <今後の対応> 引き続き、楽団活動の充実を図るため、支援していく。 | | | | | |

*楽団友の会: 楽団の活動を支援する、団員保護者等による組織

| 【2】文化団体等支援 | | 予定回数/目標人数 | | 実施結果 | | 達成 |
|------------|---|-----------|---|------|--------|----|
| | | 17回 | - | 16回 | 5,722人 | - |
| 概要 | 自主的な文化活動を行う区民、団体に対する支援 | | | | | |
| 目的 | 活動に対する助言や場の提供の支援により、区民文化活動の充実に寄与する。 | | | | | |
| 実施結果 | ● 歓喜の演(狂言・合唱) | | | | | |
| | 4月12日(火)午後 実行委員会 西新井文化ホール | 7回 | - | 7回 | - | - |
| | 8月11日(木・祝)午後 西新井文化ホール 合唱ミニコンサート&ワークショップ | 1回 | - | 1回 | 540人 | - |
| | 8月19日(金)午後・夜間 西新井文化ホール 狂言練習発表 | 2回 | - | 2回 | 140人 | - |
| | 1月28日(土)午後 西新井文化ホール 歓喜の演 Vol.15《狂言》 | 1回 | - | 1回 | 500人 | - |
| | 3月20日(月・祝)午後 西新井文化ホール 歓喜の演 Vol.15《合唱》 | 1回 | - | 1回 | 900人 | - |
| | ● 足立区音楽祭 | | | | | |
| | 第12回9月4日(日)～25日(日) 計7日 西新井文化ホール他 | 1回 | - | 1回 | 2,046人 | - |
| | ● ブリランテコンサート | | | | | |
| | 7月10日(日)午後 西新井文化ホール | 1回 | - | 1回 | 596人 | - |
| | 1月25日(水)午後 西新井文化ホール | 1回 | - | 1回 | 500人 | - |
| | ● 足立吹奏楽団定期演奏会 | | | | | |
| | 2月5日(日)午後 西新井文化ホール | 2回 | - | 1回 | 500人 | - |
| | 各団体からの申請により、公社との共催事業とし、活動に関する助言や支援(実行委員会への参加、パブリシティの確認、ギャラクシティ施設以外の活動場所の確保、本番当日の運営支援等)、区民の文化活動を充実させ、文化面での区民還元を図った。 <今後の対応> 自主的な活動の充実と継続のため、引き続き地域団体等への助言、支援を行う。 | | | | | |

| 【3】イベントコーディネート事業 | | 予定回数/目標人数 | | 実施結果 | | 達成 |
|------------------|--|-----------|---|------|---|----|
| | | 随時 | - | 7件 | - | - |
| 概要 | 地域の団体・機関、小学校等からのイベントの企画・運営や出演者に関する相談窓口 | | | | | |
| 目的 | 地域での主体的な文化芸術活動の活性化を図る。 | | | | | |
| 実施結果 | 小学校開かれた学校づくり協議会主催イベント、敬老のつどいイベント、落語会、老人クラブ誕生会、障がい者施設新年会 | | | | | |
| | イベントの企画についての相談に対する助言や、出演者のコーディネートをを行った。各団体からは、高い評価をいただいております。数年に渡り定着した相談を受けている。また、利用した団体からの口コミにより、他の施設等からの問合せが広がった。 <今後の対応> 主体的な文化芸術活動を支援するため、地域団体等からの相談を継続する。 | | | | | |

4 足立区から受託する生涯学習に関する事業

(定款第4条第1項第5号事業)【公益目的事業】

| | | |
|------------------|------|---------------|
| (1)あだち放課後子ども教室支援 | 予算現額 | 223,543,000 円 |
| | 執行額 | 211,505,813 円 |

| 【1】あだち放課後子ども教室の支援 | 予定回数/目標人数 | | 実施結果 | | 達成 | | |
|--|---|---------|------------|----------|-------------|----------|----------------|
| | 随時 | — | — | — | — | | |
| 概要 | 各校の実行委員会及び教室運営を支援する業務 | | | | | | |
| 目的 | ①各放課後子ども教室の安定運営を継続する。 ②全学年実施校を拡大する。 ③体験・交流活動の充実を図る。 | | | | | | |
| 実施結果 | (1)実施状況 | | | | | | |
| | 年度(校数) | 全学年実施校数 | 1校平均年間実施日数 | 延参加児童数 | 1校1日平均参加児童数 | 活動スタッフ人数 | 1校平均巡回回数(約43週) |
| | 26(70) | 51校 | 171日 | 700,063人 | 58.4人 | 1,363人 | 49回 |
| | 27(69) | 57校 | 171日 | 702,819人 | 59.4人 | 1,365人 | 47回 |
| | 28(69) | 60校 | 171日 | 718,989人 | 60.9人 | 1,295人 | 48回 |
| (2)『放課後+One』(放課後子ども教室における体験プログラム) | | | | | | | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・年1回以上のプログラム実施校数:53校 ※うち概ね月1回以上実施校33校 ・その他、日常活動で自由に実施できるプログラムを6種目27校に導入 | | | | | | | |
| ①各校への巡回や事故対応、事務の補助やスタッフ会議等への出席など、地域住民により構成された実行委員会の事業運営を支援した。また、「運営マニュアル」をとりまとめて全校に配布し、各校の運営体制やルールの見直しを行った。スタッフからは緊急時や児童のトラブルの際の参考になったとの声を多くいただいた。さらに28年度より、「足立区放課後子ども総合プラン」*に基づき、学校内に学童保育室のある学校(隣接含む)において、放課後子ども教室・学童保育室・学校による情報連絡会を28校で実施し、互いの運営状況を把握することができた。 | | | | | | | |
| ②安全管理体制の整備や活動場所の調整など各放課後子ども教室の課題について、実行委員会・スタッフ及び学校と協議し、対象学年の拡大に取り組んだ。全学年実施校が3校増え、計60校となった。 | | | | | | | |
| ③実行委員会及びスタッフ会議等を通して、体験活動の導入を呼びかけた。また、公社の「こどもサポーター養成講座」修了者と実行委員会とのコーディネートや、NPO法人等の団体との連携によるプログラムの実施、スタッフが取り組みやすいプログラムの導入などにより、子どもたちの体験活動を拡充した。 | | | | | | | |
| <今後の対応> 各校の安定運営、対象学年の拡大、体験プログラムの拡充について、引き続き支援する。 | | | | | | | |

*「足立区放課後子ども総合プラン」: 文部科学省と厚生労働省が平成26年度に発表した「放課後子ども総合プラン」を受け、区が27年度に策定。放課後子ども教室および学童保育事業の計画的な整備等を進めることとしており、放課後子ども教室については、全学年実施と開催日数の拡大、校内および隣接する学童保育室との連携、体験プログラムの充実などを目指す計画

| 【2】安全管理講習会(応急手当実技) | | 予定回数/目標人数 | | 実施結果 | | 達成 |
|--------------------|--|-----------|--------|------|------|----|
| | | 69回 | 1,040人 | 69回 | 991人 | ◎ |
| 概要 | スタッフが事故やケガの対応に必要な知識と技能を学ぶ講習会(毎年全校で実施) | | | | | |
| 目的 | スタッフ活動に必要な緊急時の対処法や応急手当の知識と技術を習得させる。 | | | | | |
| 実施結果 | 4月から7月にかけて全69校で実施 講師:NPO 法人スポーツセーフティジャパン派遣講師 | | | | | |
| | <p>専門講師を招き、緊急対応(心肺蘇生 AED の使い方)、応急手当の方法(アイシングなど)、熱中症の予防と対策などについて、実技を交えて学んだ。毎年、繰り返し講習を受けることで対処法の技術が蓄積できている。アンケートでは、ワークショップをグループで行うことで、緊急時の対応を確認し合えるので非常に参考になるとの声が多い。</p> <p><今後の対応></p> <p>講習内容を見直しながら、毎年夏休み前までに全校で実施する。</p> | | | | | |

| 【3】新任安全管理講習会(応急手当実技) | | 予定回数/目標人数 | | 実施結果 | | 達成 |
|----------------------|---|-----------|---|------|-----|----|
| | | 3回 | - | 3回 | 43人 | - |
| 概要 | 新規に登録したスタッフが事故やケガの対応に必要な知識と技能を学ぶ講習会 | | | | | |
| 目的 | 新任のスタッフ活動に、緊急時の対処法や応急手当の知識と技術を習得させる。 | | | | | |
| 実施結果 | 10月14日(金)、12月2日(金)、2月18日(水)の午前 生涯学習センター 講師:NPO 法人スポーツセーフティジャパン派遣講師 | | | | | |
| | <p>AEDの基礎知識、ケガ及び緊急時の対応、熱中症の対応、アイシング体験などを行い、これからの活動の備えとして正確な知識を学んだ。</p> <p><今後の対応></p> <p>新任スタッフに適した講習内容となるように見直しながら、毎年実施する。</p> | | | | | |

| 【4】運営委員会 | | 予定回数/目標人数 | | 実施結果 | | 達成 |
|----------|--|-----------|---|------|------|----|
| | | 1回 | - | 1回 | 113人 | - |
| 概要 | 各放課後子ども教室の実行委員長や関係団体の代表が出席し、講演や報告等を行う会議。 | | | | | |
| 目的 | ①実行委員長等が、事業の意義や必要性に対する理解を深める。 ②次年度に向けた区の方針等を周知する。 | | | | | |
| 実施結果 | 1月26日(木)午後、生涯学習センター 「足立区の子どもたちの現状～足立区スクールソーシャルワーカー～」 講師:五井章氏(こども支援センターげんき)、大山佳子氏(統括スクールソーシャルワーカー) 「地域が支えるあだち放課後子ども教室」 講師:藤後悦子氏(東京未来大学教授) | | | | | |
| | ①足立区の子どもたちの現状とスクールソーシャルワーカーの活動を知るとともに、放課後子ども教室の意義を再認識した。アンケートでは、「区の見組の理解が深まった」、「地域と保護者の関わりが大切だと思った」、「子どもからのシグナルを見逃さないようにしたいと思った」など、教室の意義や大人の役割を再確認できて大変参考になったとの声が多かった。 ②区教育委員会より、夏期試行実施の検証、保険制度の変更、学童保育室との連携等について報告した。 <今後の対応> 教育委員会と協議して実施内容を見直し、同様の形態で開催する。 | | | | | |

| 【5】ブロック会議 | | 予定回数/目標人数 | | 実施結果 | | 達成 |
|-----------|---|-----------|---|------|------|----|
| | | 13回 | - | 13回 | 211人 | - |
| 概要 | 各放課後子ども教室の実行委員長と校長が出席し、情報交換や課題の協議を行う会議 (小学校13ブロックごとに開催) | | | | | |
| 目的 | ①他校の実施状況や取り組みを知ることにより、円滑な教室運営につなげる。 ②実行委員会、学校、公社の連携を深める。 | | | | | |
| 実施結果 | 11月4日(水)～12月3日(金) 各ブロックの学校で順次実施 | | | | | |
| | ①全校の実施状況、体験プログラムの事例紹介、今後のスケジュール等を報告した。各校の課題に対して、互いに助言や参考意見が出され、課題解決のきっかけの場となった。 ②実行委員長と学校、公社が各校の進捗や課題を共有できる有意義な会議となっている。アンケートでは、「他校の状況も聞ける貴重な場である」との声が多い。 <今後の対応> スタッフリーダーの出席を望む声がある。次年度の会議内容について検討していく。 | | | | | |

| | | |
|-----------------|------|-------------|
| (2)足立ジュニア吹奏楽団支援 | 予算現額 | 4,520,000 円 |
| | 執行額 | 4,472,304 円 |

| 【1】楽団及び楽団友の会の運営支援、 演奏活動の支援(通年) | 予定回数/目標人数 | | 実施結果 | | 達成 | |
|-----------------------------------|---|---|------|-----|--------|---|
| | - | - | - | - | - | |
| 概要 | 「足立ジュニア吹奏楽団」の育成・活動支援事業(区からの受託事業) | | | | | |
| 目的 | ①生涯にわたり音楽を愛好する児童の育成を図り、区の音楽文化を支える人材の輩出に貢献する。 ②楽団活動を通して、足立区の音楽文化の向上、発展に寄与し、魅力ある地域づくりに貢献する。 | | | | | |
| 実施 結果 | ●定期練習 島根小学校音楽室 | - | - | 87回 | 3,567人 | - |
| | ●楽団活動 | | | | | |
| | 4月9日(土)午後 入団式 島根小 | - | - | 1回 | 50人 | - |
| | 5月7日(土)午後 友の会総会 島根小 | - | - | 1回 | 50人 | - |
| | 6月11日(土)午後 避難訓練 島根小 | - | - | 1回 | 24人 | - |
| | 8月13日(月)～15日(水) 夏合宿 日光林間学園 | - | - | 1回 | 176人 | - |
| | 1月28日(土)午前 練習見学会 島根小 | - | - | 1回 | 4人 | - |
| | 1月28日(土)午前、2月11日(土)午前 2月25日(土)午前、3月11日(土)午前 3月18日(土)午前、3月19日(日)午前、午後 ブラスキッズ 島根小・西新井文化ホール | - | - | 7回 | 129人 | - |
| | 2月4日(土)午後 楽団説明会 島根小 | - | - | 1回 | 6人 | - |
| | ●自主演奏会 | | | | | |
| | 9月3日(土)午後 アリオ西新井 サマーコンサート | - | - | 2回 | 700人 | - |
| | 12月17日(土)午後 アリオ西新井 クリスマスコンサート | - | - | 2回 | 700人 | - |
| | 3月19日(日)午後 西新井文化ホール 第27回定期演奏会 | - | - | 1回 | 400人 | - |
| | ●派遣演奏/イベント出演 | | | | | |
| | 4月9日(土)午前 興本扇学園 | - | - | 1回 | 400人 | - |
| | 興本扇学園開かれた学校づくり協議会主催「花と音楽と茶道の集い」 | | | | | |
| | 7月29日(金)午後 三星保育園 | - | - | 1回 | 300人 | - |
| | 三星保育園主催 夕涼み会 | | | | | |
| | 8月21日(日)午後 大田スタジアム | - | - | 1回 | 1,900人 | - |
| | 全国官公庁野球連盟主催 第67回全国官公庁野球大会 開会式 | | | | | |
| | 10月9日(日)午後 西新井文化ホール | - | - | 1回 | 1,947人 | - |
| | あだちブラスバンドフェスティバル出演 | | | | | |
| | 10月10日(月・祝)午前 総合スポーツセンター | - | - | 1回 | 658人 | - |
| | (公財)足立区体育協会主催 区民体育大会 総合開会式 | | | | | |
| | 10月10日(月・祝)午前 総合スポーツセンター | - | - | 1回 | 3,400人 | - |
| | (公財)足立区体育協会主催 スポーツカーニバル | | | | | |

| | | | | | |
|---|---|---|----|--------|---|
| 10月29日(土)午前・午後 東京ドームシティアトラクションズ | - | - | 2回 | 3,000人 | - |
| 東京ドームシティアトラクションズ主催 ウルトラハロウィンキッズパレード 2016 | | | | | |
| 2月25日(土)午前 島根小 | - | - | 1回 | 300人 | - |
| 島根小開かれた学校づくり協議会主催 もちつき大会 | | | | | |
| <p>①平成28年度は、小学4～6年生、40名が入団し、楽団活動を通じて、音楽を愛好する児童の育成と、演奏技術の向上が図られた。卒団生の多くは中学進学後も演奏活動を続け、音楽大学進学者や作曲家として活動する人材も輩出している。</p> <p>②派遣演奏・イベントに多数出演したことにより、区内外での認知度の向上と演奏依頼が定着した。各地域での派遣演奏を実施することにより、地域への貢献と活性化が図られた。</p> <p><今後の対応> 楽団の運営や派遣演奏の実施調整など、今後も楽団への支援を継続していく。</p> | | | | | |

| | | |
|---------------|------|-----------|
| (3)体力向上支援人材育成 | 予算現額 | 334,000 円 |
| | 執行額 | 296,947 円 |

| 【1】スポーツ指導者スキルアップ講習会 ～運動機能向上のためのトレーニング(高齢者)～ | | 予定回数/目標人数 | | 実施結果 | | 達成 |
|---|---|-----------|------|------|------|----|
| | | 4回 | 120人 | 4回 | 106人 | ○ |
| 概要 | 高齢者を指導する地域スポーツ指導者や高齢者に関わる活動に携わる方を対象とした運動指導の実践講習会 | | | | | |
| 目的 | <p>①地域指導者等のスキルアップの機会を通して、区民の健康体力づくりを推進する。</p> <p>②「運動あそび」の実践方法を習得し、楽しく効果的な機能向上プログラムを普及する。</p> | | | | | |
| 実施結果 | 4月29日(金・祝)午前(基礎理論編) | 1回 | 30人 | 1回 | 35人 | - |
| | 4月29日(金・祝)午後(実践指導編) | 1回 | 30人 | 1回 | 33人 | - |
| | 講師:田中秋乃(健康運動指導士) | | | | | |
| | 11月3日(木・祝)午前(基礎理論編) | 1回 | 30人 | 1回 | 19人 | - |
| | 11月3日(木・祝)午後(実践指導編) | 1回 | 30人 | 1回 | 19人 | - |
| | 梅田地域学習センター 講師:田中秋乃(健康運動指導士) | | | | | |
| <p>①アンケートでは、全員から「参考になった」との回答があり、「すぐに実践に活かしたい」との感想が多数あった。</p> <p>②コーディネーショントレーニングの理論を踏まえた「運動あそび」を学び、グループワークでプログラムづくりと指導体験を行った。楽しく出来て、効果も上げられるポイントを習得した。</p> <p><今後の対応> スポーツ指導者のスキルアップの機会として継続実施していく。</p> | | | | | | |

| 【2】スポーツ指導者スキルアップ講習会 ～運動あそびと体力向上トレーニング(こども)～ | | 予定回数/目標人数 | | 実施結果 | | 達成 |
|---|--|-----------|------|------|------|----|
| | | 4回 | 120人 | 4回 | 117人 | ◎ |
| 概要 | 子どもを指導する地域スポーツ指導者や保育・学校体育等に携わる方を対象とした運動指導の実践講習会 | | | | | |
| 目的 | ①地域指導者等のスキルアップの機会を通して、区民の健康体力づくりを推進する。 ②「運動あそび」の実践方法を習得し、楽しく効果的な体力向上プログラムを普及する。 | | | | | |
| 実施結果 | 7月24日(日)午前(基礎理論編・幼児指導) | 1回 | 30人 | 1回 | 10人 | - |
| | 7月24日(日)午後(実践指導編・幼児指導) | 1回 | 30人 | 1回 | 11人 | - |
| | 講師:小林宜義氏(日本体育協会公認コーチ) | | | | | |
| | 12月11日(日)午前(基礎理論編・小学生指導) | 1回 | 30人 | 1回 | 49人 | - |
| | 12月11日(日)午後(実践指導編・小学生指導) | 1回 | 30人 | 1回 | 47人 | - |
| | 興本地域学習センター 講師:小林宜義氏(日本体育協会公認コーチ) | | | | | |
| <p>①アンケートでは、全員から「参考になった」との回答があり、「あそびの要素をうまく取り入れて、楽しみながら体力向上が図れる運動プログラムを学べた」との感想が多数あった。</p> <p>②コーディネーショントレーニングの理論を踏まえた「運動あそび」を学び、グループワークでプログラムづくりと指導体験を行った。楽しく出来て、効果もあげられるポイントを習得した。</p> <p><今後の対応> スポーツ指導者のスキルアップの機会として継続実施していく。</p> | | | | | | |

| 【3】スポーツ指導者スキルアップ講習会 ～スポーツ現場に活かす運動生理学講座～ | | 予定回数/目標人数 | | 実施結果 | | 達成 |
|--|---|-----------|-----|------|-----|----|
| | | 1回 | 30人 | 1回 | 50人 | ◎ |
| 概要 | スポーツの指導やサポートに関わる人が知るべき運動生理学・解剖学等の基礎を学ぶ講習会 | | | | | |
| 目的 | 地域指導者等のスキルアップの機会を通して、区民の健康体力づくりを推進する。 | | | | | |
| 実施結果 | 2月4日(土)午前 ～スポーツする人・支える人のスポーツクリニック～ 講師:佐保豊氏(JOC 医科学スタッフ、アイスホッケー日本代表チームトレーナー) | | | | | |
| | <p>スポーツ傷害の予防やパフォーマンス向上のためのコンディショニングを学んだ。区公認スポーツ指導員の参加も多く、アンケート回答者全員から「参考になった」との回答があった。「身体のしくみを学べる機会があまりなかったので参考になった、すぐに指導に活かしたい」との感想が多数あった。</p> <p><今後の対応> 地域学習支援講座(スポーツコンディショニング)と統合し、スポーツ活動に必要な専門性の高い講座を提供していく。</p> | | | | | |

<1～4 公益目的事業に対する人件費>

| | | |
|---------------|----------------------------------|---------------|
| 公益目的事業に対する人件費 | 予算現額 | 257,111,000 円 |
| | 執行額 | 245,395,236 円 |
| 概要 | 定款第4条第1項事業である「公益目的事業」を実施する職員の人件費 | |

5 その他前号に定める事業に関連する事業

(定款第4条第2項第4号事業)【法人会計】

| | | |
|---------------------------------|--|--------------|
| (1)公益財団法人の経営管理、 組織・人事管理、財務運営 | 予算現額 | 57,074,000 円 |
| | 執行額 | 51,791,120 円 |
| 概要 | 理事会や評議員会の開催及び庶務事務 基本財産等の安全確実な資産運用及び経理事務 | |

公 社 概 要

| | |
|----------------|---|
| 名 称 | 公益財団法人足立区生涯学習振興公社 |
| 設 立 | 平成5年2月1日（平成12年4月1日名称変更） |
| 公益認定 | 平成21年10月1日公益財団法人 |
| 基本財産 | 15億円 |
| 代 表 者 | 理事長 亀村 精一 |
| 職 員 数 | 42名（定数） 常勤29名（派遣7名、固有22名） 非常勤13名 |
| 住 所 | 〒120-0034東京都足立区千住五丁目13番5号 学びピア21 |
| ホームページ アドレス | http://www/kousya.jp/tokimeki/ |

組 織 図

（決 議 機 関）

評 議 員

（監 査 機 関）

監 事

（執 行 機 関）

理 事 会 — 理 事 長 — 副 理 事 長
（代表理事） （業務執行理事）

（事 務 局）

事務局長

総 務 部

企画総務課、企画調整担当課長（2）
経理課

学 習 事 業 部

放課後子ども教室推進課、
放課後子ども教室地域担当課長（7）
学習・スポーツ事業課、文化活動支援課

公益財団法人足立区生涯学習振興公社

平成28年度 事業報告書

作成 公益財団法人足立区生涯学習振興公社
総務部企画総務課 03-5813-3724